

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立玉島小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」を軸とした授業改善で不十分な部分があった。クラスや教科によってばらつきがみられた。 ・いじめ問題への取組では、チームで素早い対応がとれ、大事には至らなかった。未然防止につながる確かな学級経営が全クラスで必要である。 ・生活科・総合的な学習の時間(玉島学)やサークルクラブを中心とした小中・小小・地域連携学習を有効に活かすための計画的な実践が足りなかった。
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	<p>“たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう” 子どもの育成 ～豊かでたくましい心と体の育成と確かな学力の定着をめざして～</p>
----------	--------------------------------------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研究を中心に授業改善を進める。 ②集団づくりと特別支援教育の両視点から児童を育てる。 ③地域のよさを活かした豊かな体験活動を行う。
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・マイプランに基づいた授業実践を共有することで、取組の促進と改善を図る。							行徳 田原
	○学習内容の定着に向けた単元や1単位時間を見通した分かりやすい授業の実践	○「授業を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童70%以上	・唐津市「学力向上アクションプラン」の実践を図り、深い学びへつながる授業改善を行う。チェックシートを活用して学期毎に振り返る機会を設定する。							田原 佐伯
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学級力アンケート「友達を支える力」「安心を生む力」の項目において肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学級力アンケートを年5回実施し、結果を目に見える形で児童へ返す。 ・自問ノートや道徳ノートの記述に価値を見出し、コメントを書く。 ・「にこにこ集会(人権集会)」を年間5回実施する。							宗 中野
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・玉島っ子アンケートを2か月に1回実施し、児童の生活の問題点を把握、改善する。把握したことや児童の様子などから、毎月1回程度の生活打ち合わせ会やいじめ対応に関する研修会(長期休業中)を実施する。							岩村 永淵
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)70%以上	・学校行事や授業を通して、夢や目標について自ら考えさせる場面を設ける。 ・体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。							中野 力武
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で外での遊び、運動やスポーツを行う時間が1週間で300分以上の児童70%以上	・朝や15分休み、昼休みの外遊びを奨励する。 ・縦割り活動のレツツプレイに取り組み、体を動かす機会を増やす。							松門 中野
	②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	②「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上	・給食時間の放送を活用して、食事の大切さ等について、日々考えながら食事するよう促す。 ・保健だよりや給食だよりを発行する。							松門 岩村
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守	・金曜日に定時退勤日を設定する。 ・平日18:30施錠を目指す。							教頭 橋本

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員70%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・生活打ち合わせ、ケース会議等の開催、情報共有をする。							力武 門川
○開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携	○地域人材を活用した生活科・総合的な学習の時間(玉島学)を年間1回以上全クラスで実施	・玉島学で、全クラスで地域人材を活用する。							行徳 教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---------------------------------------------------------------------------